胃の手術を受けられる＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

金沢大学医学部附属病院　胃腸外科 主　治　医（　　）
＿＿＿＿病棟　＿＿＿階 受持看護師（　　）

	入院後	手術前日	手術当日（　/　）		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7～12日目	術後13～16日目	術後17～21日目
	（　/　）	（　/　）	手術前	手術後	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）～（　/　）	（　/　）～（　/　）	（　/　）～（　/　）
安静活動	病院内自由です			手術後は、西病棟4階の術後回復室か＿＿病棟に帰ってきます ベッド上安静です 横向きは自由です	ベッドの横に立つことができます ※最初は看護師と一緒に立つ練習をします	室内を歩行できます	院内を歩行できます						
食事	普通食です	（　）朝食から流動食になります （　）朝食は食べられません 昼食は、検査のため午後2時頃になります 夕食後から食べられません	口から飲んだり食べたりできません	飲んだり食べたりできません				医師の診察後、1日300mlまで水分が摂取できます （水・お茶 スポーツドリンク）	水分の摂取に制限はありません		消化食3分粥からスタートし、徐々に食事形態がゆわります 乳製品は控えてください 消化食3分粥（　/　）消化食5分粥（　/　） 消化食7分粥（　/　）消化食全粥（　/　）		ご希望の一般食です（　/　） 乳製品は控えてください 主食は小盛です
清潔	入浴できます	看護師が毛剃り・おへその処置をした後に入浴してください	朝はいつものように洗面してください 入れ歯、指輪、時計、コンタクトレンズ、メガネ、ヘアピン等、はずしておいてください		体を拭いて着替えます 尿の管が入っているため、陰部清浄をします（感染予防） 洗髪をすることができます							お腹の管を抜いた後、シャワーが浴びられます	入浴できます
観察	1日1回検温をします		手術前に検温をします	2時間毎に検温をします 傷の観察をします	1日6回検温します		1日5回検温します		1日4回検温します		1日2回検温します （ドレーン抜去後1日1回検温します）		
情報の提供	・入院後、呼吸訓練をします ・禁煙は守りましょう ・看護師が手術の経過について説明します ・麻酔科の受診があります（　/　） **看護計画** **#1.疾患や手術に対する不安** わからないこと、不安なことがあれば伝えてください	主治医より手術についての説明があります（本人・ご家族） ＿月＿日＿時 承諾書（手術、輸血、臓器採取など）を提出していただきますので、印鑑をご用意願います	手術は　時　分からの予定です 麻酔をかけるために1時間前には（　時　分）手術室に入ります 髪の長い方は2つに結んでください 出発前にトイレを済ませてください 寝衣のまま手術室に行きます	手術後、ご家族に主治医より説明があります **看護計画** **#2.術後出血** **#3.疼痛** **#4.肺合併症** 異常の早期発見に努めます 痛い時、辛い時は看護師にお伝えください 歩く練習をしましょう 歩くことが、体の回復に効果的です			**看護計画** **#5.縫合不全** **#6.排液瘻** **#7.腸運動の低下** **#8.感染** 異常の早期発見に努めます 体調に異変がある時は看護師にお伝えください また、腸運動促進のためリハビリに努めましょう			パンフレットを使用し、食事摂取方法をご説明します	薬剤師より服薬指導がありますわからないことがあれば聞いてください **看護計画** **#9.食事摂取方法がわかる** 残った胃の機能とそれに合った食事方法を理解し、実施できるようご説明します	退院に向けての栄養指導を管理栄養士から受けていただきます お渡ししたパンフレットを持参してください （　月　日　時） **看護計画** **#10.退院後の生活への不安** 食事や体調管理についてわからないことがあれば入院中一緒に解決します	診断書・証明書が必要な方は早めに直接主治医または外来18番窓口にお申し出ください
処置	イソジンケアをします（うがいと鼻の消毒） **手術前に準備するもの** ○印のものを一枚ずつ看護師に渡してください ・手術承諾書 ・バスタオル（色の薄いもの）2～3枚 ○腹帯（さらし）2枚　・タオル2～3枚 ・スリッパ ○紙おむつ2～3枚 ・洗面具・ティッシュ1箱 ・ナイロン袋2枚・電気カミソリ（男性の方のみ） ・横飲み・スプーン・箸　・コップ ◎上記のものは、1階売店、地下薬局で売っています 足りない場合は、追加準備していただくことがあります ※上記以外のものはすべてバッグ又は袋に1～2個程度にまとめてください 貴重品（現金）は必ずご家族にお預けください	毛剃りをします おへその処置をします	朝、7時頃、浣腸します 7時半頃、弾性ストッキングをはきます	ガーゼ交換をすることがあります 酸素マスクをしています 尿の管が入っています お腹に管が入っています 心電図モニターがついています 背中から痛み止め注入用の管が入っています 鼻から管が入っています 下肢の血流を促す装置がつきます 血糖測定をします（4回／日） 1日3回吸入をします	8時、心電図モニターをはずします レントゲン確認後、鼻から入っている管を抜きます ベッドの横で立位をとることができれば、はずします	10時　酸素吸入を鼻からに変更します 歩くことができれば弾性ストッキングを脱ぎます	背中の痛み止めが抜ければ尿の管も抜きます 導尿を続けてください 背中の痛み止め用の管を抜きます 吸入を終了します	8時、酸素吸入を終了します 1日2回		術後8日目の24時で導尿を終了します お腹の管（ドレーン）を抜きます 抜糸・抜鉤を行います 1日1回 術後8日目で終了します		**退院への目標** ■ 食事を開始し、腹痛・発熱を起こすことなく摂取することができる ■ 食事量が半分以上摂取でき点滴を終了することができる ■ 食事の摂取方法を理解し、腹部症状を起こさない ■ 病棟内・院内歩行ができ、シャワー浴ができる	
検査点滴内服	胃の検査に関して足りない検査を受けていただきます 安全に全身麻酔をかけるために検査（レントゲン撮影、心電図、血液検査、呼吸機能検査など）があります 内服している薬があれば、すべてお知らせください	センチネルリンパ節検索のため内視鏡検査があります（午後1時頃） 下剤（15時、18時） 安定剤（21時）を服用します	朝、内服していただくお薬は＿＿＿＿＿＿です 少量の水で内服してください	点滴を持続的に行います 抗生剤の点滴をします	朝、採血をします 胸部・腹部レントゲン写真を病室で撮ります		朝、採血をします 胸部・腹部レントゲン写真を撮ります（歩けるので車いすで行きます）			術後の胃透視検査を行います	点滴が段々と減ります 朝、採血をします（術後7日目） 内服薬が処方されます（　/　） 術前からの薬を内服します（　/　）		退院可能です 退院日は（　月　日） 再診日 ＿月＿日＿時 ＿＿＿＿医師

☆これは、入院中の基本的な経過をお知らせするものです。退院までの経過には個人差があり、予定が変更になる場合があります。